

横浜ウォーター 10年、その先の挑戦

10周年に寄せて パートナーシップを礎に 林 文子 横浜市長



ジエクスから市販無効水素気質簡便化プロロジカルを導入しておる、国際学会の会場の横浜ワーネーにておせわれいに語り継ぎます高まつてあります。新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの大変厳しい状況を迎えてますが、横浜ワーネーは、これまで培ってきた事業体や企業の皆さまとのパートナーシップを確に、鈴木新社長の下、他にはない優れたサービスを提供していくことと勇敢に挑戦を続けてきましたが、今後も横浜市は、横浜ウォーターと連携して、「上手水道分野において、地方都市や国際社会のニーズに応え課題を解決」、市内中小企業の皆さまの海外展開にもつなげてまいだな、もう一層、力を尽してまいります。引き続き、皆さまのよき接し協力をよ頼んでいたします。



齋藤俊夫 宮城県山元町長

連携協定を結ぶ自治体からのメッセージ

より取り組んだ上下水道 ハトしていく中で、山元 います。広域化・共同

横浜市水道局100%出資の「第1セクター」として
2010年にスタートした横浜ウォーターが今年10周年
を迎えた。2013年に下水道を所管する環境創造局と
も協定を締結。近代水道および近代下水道の発祥の地・
横浜の長い歴史の中で培ってきた「公営力」を活かした
国内支援、国際展開が各地で成果を上げ、下水道の基
盤強化のパートナー企業として成長を遂げる。大きな時
代の変化の中でマーケティングとインベーションを方針
に掲げ、挑戦を続ける同社の取組みを紹介する。

横浜市水道局100%出資の「㈱セイクター」として2010年にスタートした横浜ウォーターが今年10周年を迎えた。2013年に「下水道を所管する環境創造局とも協定を締結。近代水道および近代下水道の発祥の地・横浜の長い歴史の中で培ってきた「公営力」を活かした国内支援、国際展開が各地で成果を上げ、上下水道の基盤強化のパートナー企業として成長を続ける。大きな時代の変化の中でマーケティングとイノベーションを方針に掲げ、挑戦を続ける同社の取組みを紹介する。

大久保
だける存在となつた
は、大慈大悲深く、と
喜びへ思つて、いま
この間、横浜ワオーラ
の見張り、支
んだった皆さまに
おれを申し上げます。
横浜ワオーラは、
代水道創設以来、100
を超える長い歴史の
傍つて、きた横浜市水

小林 正幸 横浜市環境創造局長

横浜ウオーターワークは2歳を過ぎた。この間、年々目標を達成しながら、10年後を見据えて、環境創造造にとりましても誠に喜ばしい限りです。

力を進めてまいりましょ
う。また、2010年も
いきました。
この協定に基づいて取組
みを着実に実施し、横浜
市において土木事務所監
督業務などを重要な業
務を担当していくだいたい
に、2010年
下水道事業
による横浜
の国内や海外に
統的かつ戦略的に取り組
運営に、これまで以下に經
て協力関係を強化しま
るほか、宮城県巣山元町な
どの大企業が、
分野の事業を新規開拓する方
面で、より一層の連携を図
ることで、より多くの事業機
会を創出する方針だ。
一方で、横浜市は、今後も
下水道事業の競争力強化と
財政健全化の観点から、

道事業体のバ
としてさらに発展
を拡大して、
を活かし、全
くことと祈念
ります。

